

## 別紙

### ミヨシ電子株式会社 広島事業所 温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

##### (1) 事業所の名称

ミヨシ電子株式会社 広島事業所

##### (2) 事業所の所在地

広島県 三次市 東酒屋町 306番地

##### (3) 業種

2814 集積回路製造業

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成21(2009)年度を基準とし、平成23(2011)年度から平成25(2013)年度までの3年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	9616	8414 12.5	12135 -26.2	11462 -19.2	13765 -30.1		
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	9616	8414 12.5	12135 -26.2	11462 -19.2	13765 -30.1		
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	設備稼働率・生産数の増加に伴い総排出量が増加している。エネルギー消費原単位については改善されているので、引き続き生産体制の効率改善を実施し原単位と合わせて確認していく。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100      削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産数量 (万個)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.7143	0.6250 12.5	0.5785 19.0	0.5656 20.8	0.5561 22.1		
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100      削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	C02排出量の削減	C02排出量を平成21年度基準値の12.5%相当分(1202t-C02)削減する。	省エネルギー 効率的生産活動の推進 運輸の効率化 動力設備の更新 省エネ機器の導入
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	D f Eの取組み推進	平成26年度までにアセスメントによる製品の改善率を100%とする。	アセスメントによる製品の改善
2	グリーン調達推進		環境配慮サプライヤーとの取引を推進する。
3	ステークホルダーへの積極的な情報提供		環境報告書の内容の充実、改良
4	地域貢献		1回/年の工業団地内清掃の計画・実施 地域清掃活動への参加
5	廃棄物の削減	平成26年度に平成23年度に比して廃棄物の総排出量を売上高原単位で7%削減する。	廃棄物の細分別化の実施 廃棄物のリサイクル化推進

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。